

殺虫剤

ウララDF



殺虫剤分類

29

農林水産省登録	第21812号
有効成分	フロニカミド・・・・・・・・・・ 10.0%
性状	淡褐色水和性細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）
有効年限	5年
包装	250g × 20袋 500g × 20袋

特長

- ✓ アブラムシ類に高い効果
アブラムシ類、コナジラミ類などのカメムシ目害虫や、アザミウマ類に対して殺虫効果を発揮します。特にアブラムシ類には、種に関わらず高い効果を示します。
- ✓ ユニークな作用
アブラムシの吸汁を阻害して防除します。アブラムシが衰弱して茎葉から脱落するまでに数日かかりますが、吸汁活動は速効的に阻害します。
- ✓ すぐれた残効性と耐雨性
本剤は葉中で適度な安定性を持ち、おおむね2～3週間の残効性があります。また、有効成分が植物内に速やかに取り込まれるため降雨による流亡が少なく、耐雨性にも優れています。
- ✓ 既存剤とは異なる系統の殺虫剤
既存剤のいずれとも異なる新規な作用機作を持っています。このため、既存の殺虫剤に抵抗性を示すアブラムシにも有効で、ローテーション防除に使用する殺虫剤として適しています。
- ✓ 高い浸透移行性と浸達性
高い浸透移行性と浸達性により、巻葉を作り薬剤のかかり難いアブラムシの防除にも効果を発揮します。有効成分は上位展開葉や新梢にも移行します。
- ✓ 天敵・有用生物に対する安全性
カブリダニ類、寄生蜂などの天敵生物、訪花昆虫に影響が少なく、IPM（総合的病害虫防除）に適した薬剤です。

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロニカミドを含む農薬の総使用回数
りんご	リンゴワタムシ	2000倍	200～700ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類	2000～4000倍					
なし	アブラムシ類						
	チャノキイロアザミウマ						
かき	チャノキイロアザミウマ						
もも	アブラムシ類	2000～4000倍					
ネクタリン							
小粒核果類	アブラムシ類	2000倍		収穫7日前まで			
	モモヒメヨコバイ						
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	1000倍		開花前まで			
	ツマグロアオカスミカメ	2000倍					
おうとう	チャノキイロアザミウマ コアオカスミカメ	2000倍		収穫前日まで			
小麦	アブラムシ類	4000倍	60～150ℓ	収穫7日前まで			
いちご		2000～4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで			
メロン	コナジラミ類	2000倍					
きゅうり	アブラムシ類	2000～4000倍					
	コナジラミ類	2000倍					
トマト ミニトマト	アブラムシ類	2000～4000倍					
	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ	2000倍					
なす	アブラムシ類	2000～4000倍					
	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ フタテンミドリヒメヨコバイ	2000倍					
ししとう	アブラムシ類	2000～4000倍			2回以内		2回以内
ピーマン							
すいか							
うり類（漬物用）							
にがうり							
ズッキーニ ヤングコーン							
さやえんどう さやいんげん 実えんどう							
かぼちゃ えだまめ いんげんまめ だいず あずき ごぼう 葉ごぼう			収穫7日前まで				
アスパラガス	アブラムシ類 ネギアザミウマ	2000倍	4000倍	収穫前日まで	3回以内		3回以内
セルリー							
ほうれんそう しゅんぎく 非結球あぶらな 科葉菜類							
エンダイブ							

すいぜんじな 食用ぎく ふき	アブラムシ類			収穫7日前まで	2回以内		2回以内						
レタス 非結球レタス パセリ だいこん		2000倍		収穫前日まで									
未成熟とうもろ こし		2000～4000倍		収穫3日前まで		無人航空機による散布							
		32～64倍	1.6～3.2 ℓ										
		50～100倍	3～5 ℓ										
オクラ	アブラムシ類 フタテンミドリ ヒメヨコバイ	2000倍	100～300 ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内						
ばれいしょ	アブラムシ類	2000～4000倍	25 ℓ	収穫7日前まで	2回以内		無人航空機による散布	2回以内					
		500倍											
		1000倍											
		32～64倍				1.6～3.2 ℓ							
		50～100倍				3～5 ℓ							
やまのいも		2000倍	100～300 ℓ			無人航空機による散布							
		32倍	1.6～3.2 ℓ										
		50倍	3～5 ℓ										
さといも やまのいも（むかご） こんにゃく		2000倍	100～300 ℓ			収穫7日前まで	2回以内		散布	2回以内			
たまねぎ		2000倍									収穫7日前まで		
ねぎ	1000～2000倍	収穫前日まで											
くわい	2000倍	収穫21日前まで		3回以内	3回以内								
キャベツ はくさい ブロッコリー カリフラワー	2000～3000倍	100～300 ℓ		収穫前日まで	2回以内	2回以内							
みつば	2000倍	収穫14日前まで 収穫3日前まで 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで											
	2000～4000倍	収穫3日前まで											
	4000倍	収穫14日前まで											
しそ おかひじき	2000～4000倍	1.6～3.2 ℓ		100～300 ℓ				収穫3日前まで 収穫14日前まで			無人航空機による散布	散布	1回
	32～64倍												
	50～100倍												
てんさい	2000倍	100～300 ℓ	収穫3日前まで 収穫14日前まで	無人航空機による散布			散布	1回					
食用ミニバラ きく（葉）	4000倍												
茶	チャトゲコナジ ラミ	1000倍	200～400 ℓ	摘採7日前まで			1回	散布	1回				
	チャノキイロア ザミウマ チャノミドリヒ メヨコバイ ツマグロアオカ スミカメ	1000～2000倍											
	コミカンアブラ ムシ	2000倍											

作物名	適用場所	適用害虫名	10アール当り 使用量	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回 数	使用方法	フロニカミド を含む農薬の 総使用回数
いちご	温室、ガラス 室、ビニール ハウス等密閉 できる場所	アブラムシ類 コナジラミ類	100g	10ℓ	収穫前日まで	2回以内	常温煙霧	2回以内
トマト ミニトマト			100～150g			3回以内		3回以内

※本内容は2024年11月13日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。散布器具、容器の洗浄水等は河川等に流さないこと。周囲に影響のない方法で処理を行ない、空容器は環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ・ 散布は各散布機種の散布基準に従って実施すること。
 - ・ 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ・ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ・ 散布終了後は次の項目を守ること。
 1. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 2. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- きゅうりに使用する場合、徒長したものでは散布時展開葉の葉縁に薬害を生じることがあるが、その後の展開葉および生育には影響はない。
- 非結球あぶらな科葉菜類に使用する場合、低温多湿等の薬液が乾燥しにくい条件下では薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- すももでは品種により、葉に薬害が生じる場合があるので注意すること。
- ばれいしょに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないこと。
- ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意すること。
 - ・ 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定および使用にあたっては病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - ・ できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態とすること。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気してから入室すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では該当がない。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。